

TOHO GAKUEN

TOYAMA CAMPUS
GUIDE BOOK

桐朋学園
富山キャンパス



MESSAGE

学長メッセージ

1999年に開学された桐朋学園大学院大学は、この4月、28年目を迎えました。日本を代表するヴァイオリニストで名教師でいらした江藤俊哉先生が、重奏をメインにした少人数の音楽学校を、この落ち着いた環境の呉羽にと考えられたのです。

1学年10人規模で同じ寄宿舍に生活します。人数の多いピアノ科の学生は、ヴァイオリン、チェロの先生方と一緒に演奏して学びます。富山市内のホールでのリサイタル開催、附属機関の桐朋オーケストラ・アカデミーと、在学中にオーケストラ伴奏でコンチェルトを弾く事ができます。とてもぜいたくな特長あるカリキュラムと、指導が現役の素晴らしい演奏家達ということで、着々と27年間で積み重ねて参りました。

私もリサイタル試験などに何度も富山に参りましたが、2年間この場所で先生方や友人と、とても親しく音楽生活できる富山留学をうらやましく感じておりました。

ここでしっかりと勉強し、音楽を通して社会で活躍、貢献して下さることを心から願っております。

桐朋学園大学院大学 学長 辰巳 明子



桐朋学園音楽部門富山キャンパス

桐朋学園音楽部門 富山キャンパスは、富山市呉羽地区に位置し、桐朋学園大学院大学生と桐朋オーケストラ・アカデミー生が豊かな自然環境に恵まれた教育・居住環境のもとでそれぞれの専門分野を学んでいます。

所長メッセージ

プロオーケストラのプレーヤーを目指す若者達が、貴重な経験を積みながら高度で実践的な勉強をする桐朋オーケストラ・アカデミーでは、多くの在籍生や修了生がプロオーケストラのオーディションに合格し、活躍しております。

年間6回のオーケストラ公演では、国内外の著名な指揮者やプロオーケストラのプレーヤーを講師として招聘し、一緒に演奏しながら、ホールで音響を聴きながらの指導を行なっております。オーディション選抜グループが出演する室内楽公演もあり、富山市で行うオーケストラ公演や室内楽公演には、「桐朋オーケストラ・アカデミー友の会(総会員数約2200名)」の会員様が、多数ご来場していただきます。

また、プロオーケストラの先生方に担当していただいている個人レッスンでは、音楽についての様々なアドバイスを受けることができます。

オーケストラの演奏で、社会性も身につけながら仲間達と切磋琢磨していただきたいと思っています。

桐朋オーケストラ・アカデミー 所長 銅銀 久弥



桐朋学園大学院大学

ピアノ、ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロを専攻する学生のための大学院です。「重奏研究」や「リサイタル」などの特色ある教育課程と世界に誇る優れた教授陣を擁し演奏技術だけでなく、豊かな教養も備えた演奏家を養成します。

桐朋学園大学院大学・桐朋学園大学附属 桐朋オーケストラ・アカデミー

プロフェッショナルなオーケストラ奏者として活躍する音楽家の育成を目的として創設された教育・研究機関です。教育課程と研修課程からなり実践的な幅広いカリキュラムでプロのオーケストラ奏者を養成します。

桐朋学園大学院大学

音楽芸術の未来を拓く、
感性と創造力の育成。

理念



建学の精神

桐朋学園大学院大学は、小規模ながら、恵まれた教育環境と施設設備とともに、学生個々の研究計画に十二分に応えられる教育課程(カリキュラム)と、世界に誇る優れた指導陣を擁しています。

その教育は、芸術行為・音楽実践の原点に立ち返り、「演奏の様式性の獲得」と「感性教育の実践」を建学の精神とし、音楽表現の無限の多様性を感受し、表現することのできる教養ある音楽家を育成することにより、国際的に貢献することを目的としています。



大学の目的

本学は、音楽芸術の演奏及び学術的理論並びにその応用について教育研究し、芸術文化に関する幅広い識見、卓越した能力及び創造性ゆたかな芸術的感性を養い、もって文化の進展に寄与することを目的としています。



教育の目的

本学研究科は、広い視野に立って精深な学識を授け、音楽芸術の清新な表現に関する理論及び技術についての研究能力並びに高度の専門性が求められる職業等を担うための卓越した能力を培うことを目的としています。



4つのポリシー

アドミッション・ポリシー

■本学が求める学生像

本学は、芸術行為・音楽実践の原点に立ち返り「演奏の様式性の獲得」と「感性教育の実践」を建学の精神とし、将来「音楽表現の無限の多様性を感受し、表現することのできる教養ある音楽家として、国際的に活躍することのできる者」を学生として受け入れています。

■入試の方法

本学の建学の精神・教育目的を理解し、本学における研究に必要な音楽的能力を有する者を、演奏実技試験及び研究計画書に基づく面接によって選抜しています。

■入試課題

本学は、音楽表現の無限の多様性を感受し、表現することのできる教養ある音楽家を育成し、国内はもとより、国際的にも活躍する人材の輩出を目指しています。入学試験においては、顕在的、潜在的能力を有する者を「技術の到達度」、「表現力」、「感性」、「個性」などの観点の主眼としつつ、実技の能力のみに偏らず、大学院での具体的な研究計画を提出させ、総合的に本学に受け入れるべき学生かどうかを判定するための課題を課しています。

カリキュラム・ポリシー

本学のカリキュラム(教育課程)は、学生各々の主体的な研究活動を活かしつつ、個々に専攻する楽器について、より高度な演奏技能を修得するとともに、「重奏研究」「オーケストラによるコンチェルト実習」など、大学学部卒業後の研究にふさわしい多彩な内容となっています。とりわけ「重奏研究」においては、学生同士のみならず、指導教員との共演による実技研究を特徴としており、多様な演奏様式と表現法を学修することができます。また、「作品分析」などの講座系の授業も実習系の科目に深く関連させながら、厳選されたプログラムによって、学生各々の主体的研究が効果的に行われるように編成されています。

ディプロマ・ポリシー

以下の能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した学生は修了が認定されます。

1. 音楽表現の無限の多様性を感受し、表現することのできる教養ある音楽家として、国際的に貢献することができる能力。
2. 音楽芸術の分野で真のリーダーになれるよう研鑽を積み、世界の音楽文化に多大な貢献ができる能力。

アセスメント・ポリシー

(学修成果の評価の方針)

桐朋学園大学院大学では、ディプロマ、カリキュラム、アドミッションの3つのポリシーに基づき、機関・教育課程レベル、科目レベルの2段階で学修成果等を確認・評価します。

1:機関・教育課程レベル

学生の修了率、修了後の就職/進路状況、資格取得状況、単位修得状況、アンケート調査結果等から学修成果の達成状況を確認・評価します。

2:科目レベル

シラバスで示された科目の到達目標に対する評価、授業評価アンケート、成績評価等の結果から、科目ごとの学修成果の達成状況を確認・評価します。

4つの特色

専攻実技



第一線で活躍する演奏家でもある本学教授陣を中心に、マンツーマンのレッスンをを行います。学生一人ひとりの個性や感性に合わせたきめ細やかな指導を受けることで、より高度な演奏技術や表現力が身につきます。

重奏研究



二重奏、三重奏のレパートリーを主とした室内楽のレッスンをを行います。学生同士のみならず、一流の演奏家でもある教員が学生のパートナーを務めることで、アンサンブル特有の音楽作りを学ぶことができます。また、研究成果の発表の場として、室内楽コンサートを開催しています。

リサイタル



修了までに計3回、一般公開リサイタルを必修科目として課しており、各リサイタルにおける曲目解説は教員の指導のもと演奏者自ら執筆します。楽曲についての細かな分析を演奏に反映させることで、言語表現と音楽表現が一体化した説得力のある演奏家の育成を目指しています。

オーケストラによるコンチェルト実習



オーケストラとのアンサンブルを実践的に学ぶカリキュラムです。第I期(前期)においては2年次生全員がソリストとなり、オーケストラと協演することができます。第II期(後期)では、オーディションによって選抜された学生が桐朋オーケストラ・アカデミーの演奏会「協奏曲のひととき」でソリストを務めます。

学位および資格

高等学校教諭専修免許状(音楽)

中学校教諭専修免許状(音楽)

本学に2年以上在学して30単位以上修得し、必要な研究指導を受けた上で修了審査に合格した者には修士(音楽)の学位を授与します。

また、高等学校教諭一種免許状(音楽)、中学校教諭一種免許状(音楽)取得者(取得資格のある者を含む)で、課程認定科目(大学が独自に設定する科目)を24単位以上修得し、修了した者(修了見込者を含む)は、修了時に高等学校教諭専修免許状(音楽)および中学校教諭専修免許状(音楽)取得の申請ができます。

修了審査

修了審査については、以下の2つの方法があります。

修士論文による審査

- 楽曲研究基礎を2年間履修し、論文作成のための必要な指導を受け、修士論文を執筆
- 修士論文面接

修士演奏による審査

- 20分程度の実技演奏試験(修士リサイタル演目以外)
- レポート作成のための必要な指導を受け、研究レポート(5,000字以上)を執筆
- 口頭試問

学位論文等の評価に関する基準

修了審査は、本学ディプロマ・ポリシーに基づき、以下の基準により総合的に評価します。

修士論文による審査

- 修士論文は、学位申請者が主体的に取り組んだ、学術的意義のある、音楽分野における研究に基づいたものであり、明確な研究目的をもち、論述において専門性、独創性、論理性、客観性を有していること。
- 修士論文面接において、質疑に対して適切な回答ができること。

修士演奏による審査

- 修士演奏としてふさわしいプログラム構成であり、作品の背景・様式等を明確に把握し優れた演奏技術および豊かな表現能力を有していること。
- 研究レポートは、学位申請者が主体的に取り組んだ、学術的意義のある、音楽分野における研究に基づいたものであり、課題設定が適切で、論述において独創性、論理性を有していること。
- 口頭試問において、質疑に対して適切な回答ができること。

カリキュラム

- 西洋音楽概論は、専修免許状に必要な選択必修科目(2単位)となっています。
- リサイタルI/II、修士リサイタルおよび楽曲研究基礎の修得単位は専修免許状に必要な24単位には含まれません。
- 楽曲研究基礎は修士論文作成上の指導を受けるための授業であるため、修士論文による審査で修了審査を受ける者は2年間の履修が必要です。
- 1年次に課せられた必修科目(12単位)を全て修得していない者は、2年次への進級が出来ません。

	授業科目	単位	受講年次
必修科目	重奏研究I	4	1
	重奏研究II	4	2
	専攻実技I	4	1
	専攻実技II	4	2
	リサイタルI	1	1
	リサイタルII	1	2
	修士リサイタル	2	2
	作品分析I	2	1
	作品分析II	2	2
	オーケストラによるコンチェルト実習I	1	1
	オーケストラによるコンチェルト実習II	1	2

	授業科目	単位	受講年次
選択科目	西洋音楽概論(1年次)	1	1
	西洋音楽概論(2年次)	1	2
	楽曲研究基礎(1年次)	1	1
	楽曲研究基礎(2年次)	1	2
	演奏研究ゼミI	1	1
	演奏研究ゼミII	1	2
	伴奏実技演習(1年次ピアノ専攻生)	1	1
	伴奏実技演習(2年次ピアノ専攻生)	1	2

修了に必要な単位数は30単位(必修26単位 選択4単位)

大学院大学 教授陣

Violin ヴァイオリン



学長
特任教授
辰巳 明子

Piano ピアノ



©Akira Muto

研究科長
教授
田部 京子

Violoncello チェロ



教学部長
図書館長
教授
銅銀 久弥

Violin/Viola ヴァイオリン/ヴィオラ



©Yuji Hori

教授
川久保 賜紀

Piano ピアノ



©Kiyohide Hori

准教授
山本 貴志

Musicology 音楽学



教授
近松 博郎

特任教授

練木 繁夫 — ピアノ
新垣 隆 — 作曲/音楽理論

非常勤講師

中井 恒仁 — ピアノ
長谷 正一 — ピアノ
佐々木 亮 — ヴィオラ
菊地 知也 — チェロ
江澤 聖子 — ピアノ
鶴見 彩 — ピアノ
鈴木 学 — ヴィオラ

2026年度 特別招聘教授

玉置 善己 — ピアノ
若林 顕 — ピアノ
伊藤 恵 — ピアノ
原田 幸一郎 — ヴァイオリン
豊嶋 泰嗣 — ヴァイオリン/ヴィオラ
中田 延亮 — 指揮
(コンチェルト実習)
沼野 雄司 — 音楽学
(特別企画講座)
三上 桂子 — ピアノ
上田 晴子 — ピアノ
上野 真 — ピアノ
藤原 浜雄 — ヴァイオリン/ヴィオラ
齋藤 友香理 — 指揮
(コンチェルト実習)
岡野 博行 — 音楽プロデューサー
(特別企画講座)

奨学金制度

特待生制度

入学試験又は所定の学内試験における成績が極めて優秀であると認められた者に、入学金及び授業料の全額または半額を免除する特待生制度を設けています。

桐朋学園大学院大学奨学金

本学に在籍する者で、学業、人物ともに優れ、かつ、経済的に学費補助を要する者に対して、1年ごとに選考を行い、授業料の全額、6割、4割、又は2割を奨学金として給付する制度を設けています。

2027年度 入試情報

音楽研究科 演奏研究専攻 [修士課程]

募集対象	ピアノ／ヴァイオリン／ヴィオラ／チェロ
募集人員	10名
修業年限	2年
入試科目	特待生入試 [書類選考、実技試験、面接] 一般入試(東京会場) [演奏実技、面接] 一般入試(富山会場) [演奏実技、面接]
出願受付	特待生入試 [2026年9月1日(火)～9月8日(火)] 一般入試(東京会場) [2026年11月11日(水)～11月24日(火)] 一般入試(富山会場) [2027年1月7日(木)～1月20日(水)]
入試日程	特待生入試 [2026年9月10日(木)第一次/書類審査、 10月3日(土)第二次/演奏実技及び面接] 一般入試(東京会場) [2026年12月12日(土)～12月13日(日)] 一般入試(富山会場) [2027年2月9日(火)～2月11日(木)]
試験会場	特待生入試 桐朋学園大学(東京都調布市) 一般入試(東京会場) 桐朋学園大学(東京都調布市) 一般入試(富山会場) 桐朋学園大学院大学(富山市)

桐朋学園大学院大学・桐朋学園大学附属

桐朋オーケストラ・アカデミー

確かな実践で育てる、
音楽家としての未来。

オーケストラ・アカデミーについて

桐朋オーケストラ・アカデミーは、将来、プロフェッショナルなオーケストラで活躍する音楽家の育成を目的として創設された教育・研究機関です。

国内外の著名な指揮者やオーケストラから講師を招聘して行われる「定期演奏会」や「特別演奏会」などのオーケストラ・コンサートを中心に、実技レッスン、模擬オーディション、講義を通して、オーケストラ奏者として必要なスキルの向上を図るカリキュラムが組まれています。

室内楽の分野においては、成績優秀なグループによる「室内楽定期演奏会」や「保育所・幼稚園、富山市内各地区への出向演奏会」などを通じて、学生は多彩で実践的な演奏経験を積むことができ、これらの活動は、地域に根ざした演奏活動として高く評価されています。学生たちは、幼児から成人まで幅広い聴衆と向き合いながら、自らの演奏者としての使命を自覚し、プロの音楽家として必要な感性と責任感を身につけていくことが期待されています。



TRACADEMY



教育システム

桐朋オーケストラ・アカデミーは、入学オーディションによって学生を選抜し、次の課程を設けています。
[開講期間／前期4月～7月、後期9月～12月]

教育課程I

オーケストラの導入教育を中心とした課程です。それぞれの専攻楽器ごとにしっかりとした基礎を学び、一定の水準に達するまで、オーケストラ演奏に参加することはできません。

教育課程II

オーケストラおよび室内楽の演奏活動を実践的に行う課程です。成績優秀者には、奨学金を支給する場合があります。

研修課程

より高度なアンサンブル演奏を研究する課程です。学費(入学金・授業料)、入寮費、寮費(開講期間内)の校納金全額を免除するとともに、その研究活動を奨励するために、指定の演奏会へ出演した際は、在籍クラス(S、A、Bクラス)に応じて研修手当が支給されます。

*教育課程は通算3年間、研修課程は最長3年間まで在籍することができます。 *試験等の結果により、上位課程、クラスに進級することができます。

カリキュラム

オーケストラ実習

国内外の著名な指揮者、演奏家を招聘して行われます。ここでは現役でプロのオーケストラに在籍している演奏者も参加し、各楽器の指導者が現場の実践に即した指導を行います。

室内楽実習

多様な組み合わせによるアンサンブルの実習を行い、経験を積みます。

実技レッスン

オーケストラ・スタディ等、各専攻楽器の指導を行います。

講座

プロ・オーケストラ奏者に必要なスキル向上のための講座を行います。

桐朋オーケストラ・アカデミー 指導陣

桐朋オーケストラ・アカデミーの指導講師は、担当教員の他、プロ・オーケストラの現場で豊富な経験を持つ演奏家を中心に招聘しています。

桐朋オーケストラ・アカデミー 担当教員

<p><i>Violoncello</i> チェロ</p>  <p>所長 銅銀 久弥</p>	<p><i>Flute</i> フルート</p>  <p>副所長・教務部長 神田 寛明</p>	<p><i>Violin</i> ヴァイオリン</p>  <p>運営委員 清水 颯輝</p>
<p><i>Clarinet</i> クラリネット</p>  <p>運営委員 亀井 良信</p>	<p><i>Trumpet</i> トランペット</p>  <p>運営委員 長谷川 潤</p>	<p><i>Percussion</i> 打楽器</p>  <p>運営委員 小島 光</p>

2026年度 桐朋オーケストラ・アカデミー 招聘予定講師一覧

- | | | | | |
|---|--|---|---|--|
| <p>■ヴァイオリン
川久保 賜紀
伊藤 文乃
小形 響
塩貝 みつる
白井 圭
田野倉 雅秋
長原 幸太
松浦 奈々
森田 昌弘
吉村 知子</p> <p>■ヴィオラ
鈴木 学
佐々木 亮
篠崎 友美
安藤 裕子
井野邊 大輔
中村 翔太郎</p> | <p>■チェロ
菊地 知也
清水 詩織
高木 慶太
富岡 廉太郎
松波 恵子</p> <p>■コントラバス
市川 雅典
石川 滋
池松 宏
黒川 冬貴
吉田 秀</p> <p>■フルート
白尾 彰
梶川 真歩
高木 綾子
満丸 彬人</p> | <p>■オーボエ
蠣崎 耕三
最上 峰行
金子 亜未
吉井 瑞穂
吉村 結実</p> <p>■クラリネット
芳賀 史徳
三界 秀実
磯部 周平
トン・ブルックス
船隈 慶</p> <p>■ファゴット
岡本 正之
井上 俊次
佐藤 由起
河村 幹子
坪井 隆明</p> | <p>■ホルン
上原 宏
猶井 正幸
今井 仁志
勝俣 泰
伴野 涼介
日橋 辰朗
信未 碩才
村上 哲</p> <p>■トランペット
田中 敏雄
山本 英司
長谷川 智之
尹 千浩</p> | <p>■トロンボーン
神谷 敏
栗田 晃
石川 浩
岡本 哲
小田桐 寛之
野々下 興一</p> <p>■打楽器
近藤 高顕
久保 昌一
菅原 淳
西川 圭子
野本 洋介
武藤 厚志
山田 徹</p> <p style="text-align: right;">(敬称略)</p> |
|---|--|---|---|--|

※上記は2026年度の予定であり、招聘講師は毎年異なります。

アカデミー入団実績

桐朋オーケストラ・アカデミーはこれまでに多くのプロ・オーケストラ奏者を輩出しており、その実績が高く評価されています。

桐朋オーケストラ・アカデミー在籍、
修了生のプロ・オーケストラへの
入団および合格実績
(2023～2025年度)

札幌交響楽団	2名	名古屋フィルハーモニー交響楽団	1名
仙台フィルハーモニー管弦楽団	2名	京都市交響楽団	1名
山形交響楽団	1名	大阪交響楽団	1名
群馬交響楽団	1名	大阪フィルハーモニー交響楽団	2名
NHK交響楽団	2名	日本センチュリー交響楽団	1名
新日本フィルハーモニー交響楽団	2名	兵庫芸術文化センター管弦楽団	7名
東京交響楽団	4名	広島交響楽団	2名
東京都交響楽団	1名	九州交響楽団	5名
パシフィックフィルハーモニア東京	1名	藝大フィルハーモニア管弦楽団	1名
神奈川フィルハーモニー管弦楽団	2名	愛知室内オーケストラ	2名
富士山静岡交響楽団	2名	中部フィルハーモニー交響楽団	1名
セントラル愛知交響楽団	2名	岡山フィルハーモニック管弦楽団	1名

2027年度 入試情報

募集対象	募集楽器は2026年9月3日(木)本学ホームページ内で発表いたします。 [対象楽器] ヴァイオリン/ヴィオラ/チェロ/コントラバス/フルート/オーボエ/クラリネット/ ファゴット/ホルン/トランペット/トロンボーン/バス・トロンボーン/打楽器
出願資格	2027年4月1日現在、18歳以上30歳未満(1997年4月2日～2009年4月1日 出生の者)で、 桐朋オーケストラ・アカデミーの演奏研究活動に参加できる演奏水準を有する者
選考方法	〈1次録画審査〉録画および書類による審査 〈2次対面審査〉対面受験および面接による審査
オーディション日程	教育課程生選抜 [富山会場] 〈1次録画審査〉録画提出期限:2026年9月28日(月)必着 〈2次対面審査〉桐朋学園音楽部門 富山キャンパス 2026年11月25日(水):弦楽器 26日(木):木管 27日(金):金管・打楽器 [東京会場] 〈1次録画審査〉録画提出期限:2026年10月21日(水)必着 〈2次対面審査〉桐朋学園音楽部門 調布・仙川キャンパス 2027年1月23日(土):弦楽器(調布) 24日(日):木管(調布)、金管・打楽器(仙川) 研修課程生選抜 〈1次録画審査〉録画提出期限:2026年10月21日(水)必着 〈2次対面審査〉桐朋学園音楽部門 調布・仙川キャンパス 2027年1月23日(土):弦楽器(調布) 24日(日):木管(調布)、金管・打楽器(仙川)
出願期間	教育課程生選抜[富山会場] 2026年9月7日(月)～2026年9月14日(月) 教育課程生選抜[東京会場]・研修課程生選抜 2026年10月1日(木)～2026年10月8日(木)

主な年間行事予定

桐朋学園大学院大学	桐朋オーケストラ・アカデミー
	4 Apr
合同入学式 オリエンテーション	アカデミー演奏会
	5 May
コンサート実習第I期	
	6 Jun
	アカデミー演奏会 室内楽オーディション 模擬オーディション
	7 Jul
重奏研究室内楽コンサート	
	8 Aug
	9 Sep
コンサート 独奏者選抜オーディション	アカデミー演奏会

桐朋学園大学院大学	桐朋オーケストラ・アカデミー
	10 Oct
コンサート実習第II期	
	11 Nov
	アカデミー演奏会 アカデミー室内楽演奏会 模擬オーディション
	12 Dec
重奏研究室内楽コンサート	アカデミー終講
	1 Jan
リサイタル	
	2 Feb
修了審査 ・修士論文面接 ・修士演奏試験 ・口頭試問 実技演奏試験	
	3 Mar
修士リサイタル 修了式	

施設紹介



ここでなら、音楽ひとすじに打ち込める。

富山県の中央に連なる、緑ゆたかな呉羽丘陵。

そのふもとの呉羽地区は、桐朋学園音楽部門 富山キャンパスのほか、富山市舞台芸術パークが設置されるなど、県内随一の「音楽の都」と言えます。恵まれた自然環境と、都市の喧噪から適度な距離をおいた静謐さに包まれ、芸術を真摯に学び、実践するための環境が整っています。

桐朋学園音楽部門 富山キャンパス

桐朋学園音楽部門 富山キャンパスは、富山市呉羽地区に位置し、桐朋学園大学院大学生と桐朋オーケストラ・アカデミー生が豊かな自然環境に恵まれた教育・居住環境のもとでそれぞれの専門分野を学んでいます。学生間の交流だけでなく、公開授業や学内演奏会などを通じて、富山市民との交流も盛んに行われています。



校舎の概要

5,293㎡、アンサンブル室3室(大・中・小)、練習室23室、桐朋学園大学院大学附属図書館資料閲覧室、視聴室、桐朋学園大学院大学専任教員の研究室5室等

桐朋学園大学院大学附属図書館

楽譜、書籍等の図書資料(約28,000点)およびCD、LD、DVD等の視聴覚資料(約13,000点)を備えた音楽専門図書館です。司書によるレファレンス等のサービスを行っており、桐朋学園大学附属図書館の資料も利用可能です。



学生寮

学生寮(桐朋学園呉羽寮)は校舎に隣接しており、全室個室でバス、トイレ、冷暖房が完備されています。また、共同のキッチン(IHクッキング・ヒーター、給湯器、冷蔵庫、炊飯器、電子レンジ、トースター)を備えており、自炊が可能です。



周辺環境

桐朋学園音楽部門 富山キャンパスは、富山市舞台芸術パークに隣接し、その中の富山市民芸術創造センターではオーケストラのリハーサルも実施しています。



学生相談室・保健室

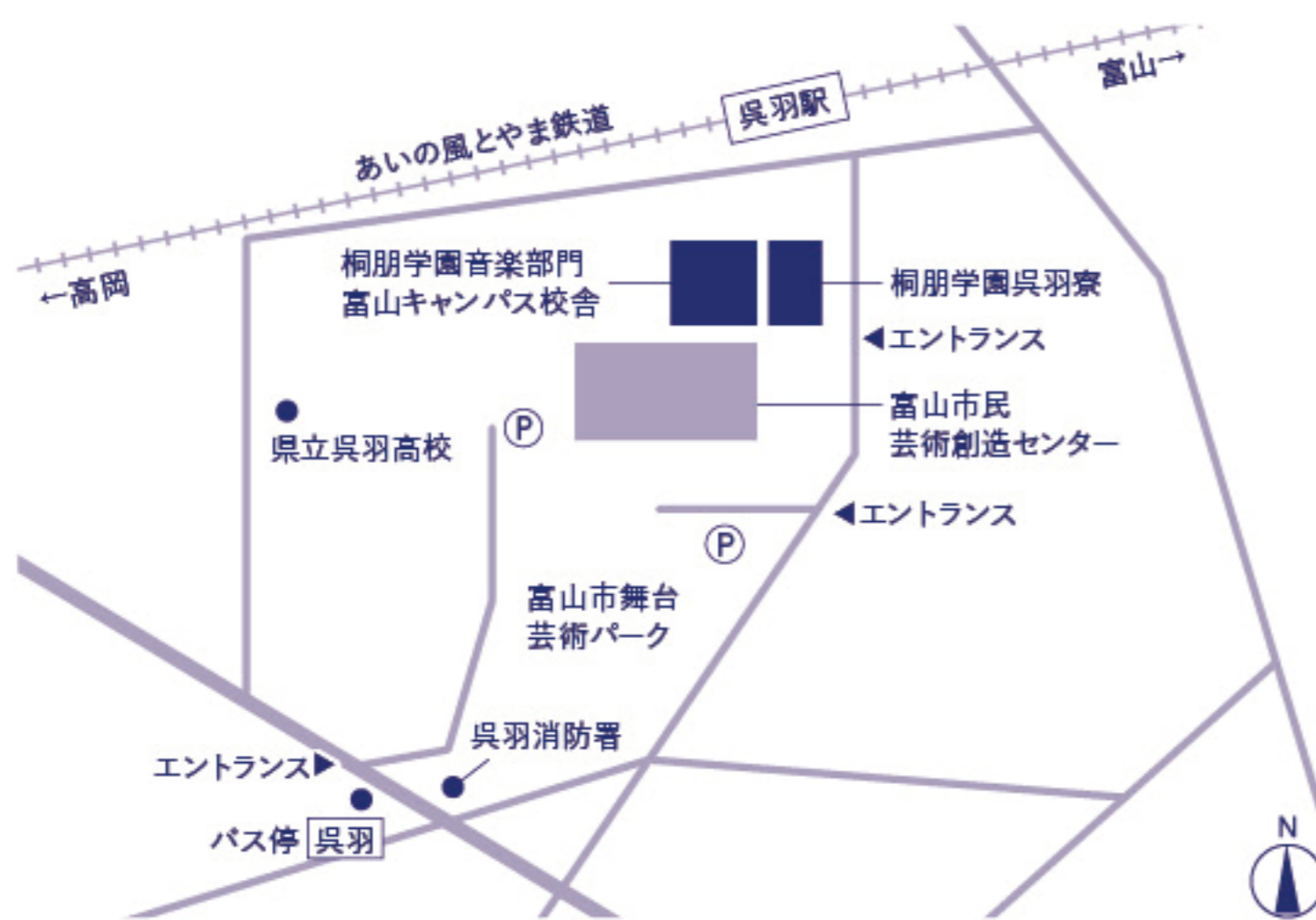
桐朋学園音楽部門の学生相談室では、専門のカウンセラーが学生生活の様々な相談に応じています。病気や障がいのために特別な配慮を必要とする方もご相談ください。学生の健康管理は、学校医および音楽部門保健室と連携して対応しています。

キャリア支援

キャリアに関する事柄は、桐朋学園大学音楽学部キャリア支援センターに相談できます。



ACCESS



あいの風とやま鉄道<最寄駅「呉羽駅」>

- JR東京駅よりJR富山駅は北陸新幹線で最短2時間8分
- 富山駅より金沢方面へ
並行在来線(あいの風とやま鉄道)で一駅(所要5分)
- 呉羽駅→桐朋学園音楽部門 富山キャンパス 徒歩約3分

富山地方鉄道路線バス

- 富山駅前から「高岡駅前」行き等乗車(所要約30分)
- バス停「呉羽」
→桐朋学園音楽部門 富山キャンパス玄関 徒歩約10分

タクシー

- 富山市中心部より所要約20分(約3,000円)

桐朋学園大学院大学
音楽研究科
演奏研究専攻



桐朋オーケストラ・アカデミー
桐朋学園大学院大学
桐朋学園大学附属



YouTube
桐朋学園
富山キャンパス



Instagram
桐朋学園
富山キャンパス



お問い合わせ

桐朋学園音楽部門 富山キャンパス

〒930-0138 富山県富山市呉羽町1884-17 TEL 076-434-6800 FAX 076-434-6666

桐朋学園大学院大学

桐朋オーケストラ・アカデミー

2026年度発行